

第1回

知財活用による新事業展開 促進支援フォーラム&セミナー

日時 平成28年10月20日(木) 10:00～12:40

場所 北九州学術研究都市 産学連携センター2階中会議室

北九州市若松区ひびきの2-1 裏面会場案内図参照主催 九州経済産業局、特許庁、福岡県、九州知的財産活用推進協議会、
福岡県工業技術センタークラブテーマ **メーカームーブメント ものづくり最前線**
～新しいデジタルコミュニティと既存産学官との共創に向けて～定員
70名参加費
無料

三次元CADで設計し、即、三次元プリンタなどのデジタル工作機で形にするファブスペースにおいて新しいデジタルコミュニティが若い世代を中心に全国に普及してきています。一方、地域のものづくり企業においては雇用の確保と人材の育成が新事業を展開促進するうえで大きな課題です。前者は既存概念にとらわれない新しい発想を保有していますが企業化へのノウハウは弱いことが多いようです。後者は逆に新しい発想が乏しく新事業を展開していくための人的資源を切望しています。地域の企業と新しいデジタルコミュニティ、この両者が共創、融合することで新事業を展開、促進する一つの大きな答えとならないか？ 本講演会ではデジタルコミュニティの現状を紹介し、次に、地域の企業でありながら、ものづくりのプラットフォームとしてファブスペースの運営を始めた企業に運営の動機、思い等を交えながら報告をお願いします。最後に新しいコミュニティと既存企業の共創の有効性について、知的財産の観点から討議していただきます。

プログラム

講演1 ●10:05～10:40 デジタルコミュニティの最新動向

DMM.make AKIBA エヴァンジェリスト 岡島 康憲氏

講演2 ●10:40～11:10 地域のファブスペース運営機関から活動報告

タカハ機工株式会社 代表取締役社長 大久保泰輔氏

パネルディスカッション ●11:10～12:20

デジタルコミュニティと地域企業の共創
～知的財産・知財経営の観点から～

【テーマ1】知的財産の取り扱い

【テーマ2】新しいデジタルコミュニティと既存の産学官との関係

【コーディネーター】 知的財産総合事務所 NEXPAT 弁理士 羽立 幸司氏

【パネリスト】 DMM.make AKIBA エヴァンジェリスト 岡島 康憲氏

DMM.make AKIBA .make事業部 渡邊 仁史氏

タカハ機工株式会社 取締役 大久保千穂氏

熱産ヒート株式会社 代表取締役社長 川口千恵子氏

九州工業大学大学院 情報工学府 酒井 文也氏

福岡県工業技術センター機械電子研究所 所長 末廣 利範氏



窓口業務の紹介 ●12:20～12:35

知財総合支援窓口運営業務の紹介

福岡県知財総合支援窓口 トータルサポーター

熊本 洋氏

モノづくりフェア講演会(マリンメッセ福岡)
弁理士 土生 哲也氏
経営の視点で知財の役割を説明するらしい?!

10/26
水

お申し込み先

●裏面申込書に必要事項をご記入の上
FAX、Eメールにてお申し込みください。

FAX:093-551-0579

E-mail:info@comdia.co.jp

お問い合わせ先

●セミナーに関すること

TEL:093-691-0231 FAX:093-691-0252

E-mail:info-meri@fitc.pref.fukuoka.jp

北九州市八幡西区則松3-6-1 福岡県工業技術センター機械電子研究所
福岡県工業技術センタークラブ機械電子技術部会事務局(田上・松野)

●参加申込に関すること

TEL:093-551-0506 株式会社コムディア(担当/古海)

知財活用による新事業展開 促進支援フォーラム&セミナー

参加
無料

定員
70名

日時 平成28年10月20日(木)
10:00~12:40

場所 北九州学術研究都市
産学連携センター2階中会議室
北九州市若松区ひびきの2-1



講演1

DMM.make AKIBA エヴァンジェリスト 岡島 康憲氏

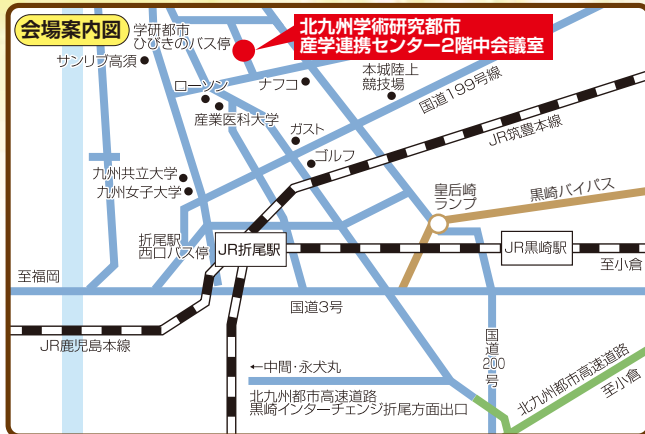
2006年 電気通信大学大学院 修了。2011年まで大手メーカー勤務。その後独立し、2014年よりDMM.make AKIBAの立ち上げに参画。現在はエヴァンジェリストとして、外部への情報発信並びに事業企画の業務を担当。



講演2

タカハ機工(株) 代表取締役社長 大久保泰輔氏

当社はソレノイドを生産・販売しています。大手製造業の生産動向に会社の浮沈を委ねる典型的な受注産業です。発展・成長の為に、急速に進化するデジタル機器を活用し、ものづくりの概念・製造業の構造を変革したいと考えています。



パネルディスカッション

コーディネーター



知財総合事務所 NEXPAT 弁理士 羽立 幸司氏

13年前前に東京から福岡に戻り、ソフトウェア分野を中心に多くの産学官連携プロジェクトや創業・新規事業支援に関わってきました。今は、特に知財をコミュニケーションツールに使った組織内外の連携にも取り組んでいます。

ディスカッションコーディネーターからのメッセージ

産学官連携等によるオープンイノベーションが進んできました。情報が進み、ファブスペースの他、ビッグデータ、IoT、AI等を含め、デジタルコミュニティの役割は更に重要になります。地方では中核企業の存在の重要性が注目されています。オープン・クローズ戦略等においても第4次産業革命の流れを意識する必要があります。知識社会に向かっていく中で、知的財産を含めていろいろな視点から、共創・融合についての気づきのきっかけとなる場になりたいと思います。

パネリスト



DMM.make AKIBA エヴァンジェリスト 岡島 康憲氏

2006年 電気通信大学大学院 修了。2011年まで大手メーカー勤務。その後独立し、2014年よりDMM.make AKIBAの立ち上げに参画。現在はエヴァンジェリストとして日々邁進しています。多種多様な北九州の元気な中小企業、熱い心、魅力の発信をしたいと思っています。



DMM.make AKIBA .make事業部 渡邊 仁史氏

義塾大学環境情報学部卒。2012年頃よりデジタルアプリケーションの活用に興味を持ち、実践を重ねる。2015年度DMM.com入社。ワークショップや講座、ものづくり系イベントの企画立案・運営等をこなすテクニカルスタッフとして従事。



タカハ機工(株)取締役 大久保千穂氏

銀行員から父の製造業を継いだときに感じた製造業の時代遅れ感。ソレノイドの発明品コンテスト「ソレコン」は新しいものづくりのヒントをくれました。弊社施設TIPからワクワクする製品を世に出したいと思っています。



熱産ヒート(株) 代表取締役社長 川口千恵子氏

「加熱のことなら熱産ヒートに聞け!と1番に声がかかるような会社になりたい!」そんな想いの下、加熱のプロ集団を目指して日々邁進しています。多種多様な北九州の元気な中小企業、熱い心、魅力の発信をしたいと思っています。



九州工業大学大学院 情報工学府 酒井 文也氏

北九州高専を卒業後、九州工業大学へ進学。高専在学中にロボコンへ出場した経験から、現在はデジタル機材が設置されている大学内の部屋「デザイン工房」の学生スタッフ。ソレコンなどに向けたものづくりも積極的に行っています。



工業技術センター機械電子研究所 所長 末廣 利範氏

当所は、地域中小企業の製品開発を中心としたものづくりを強力に支援するため、昨年「CAE支援ラボ」を開設しました。人材育成も含め総合的なものづくり支援拠点活動を展開中ですので、是非ご利用下さい。

FAX

093-551-0579

E-mail

info@comdia.co.jp

参加申込書

※下記に必要事項をご記入の上、ファックス、Eメールでお申し込みください。

申込日 平成28年 月 日 ※本参加申込書の情報は、本セミナーの運営に係る目的のみに使用させていただきます。

会社(団体名)	
所在地 〒	
電話番号	E-mail(連絡担当者)

参加者氏名	所属・役職	参加者氏名	所属・役職

グリーン購入法適合